

Weekly Bulletin 2018-2019



RI会長
パリー・ラシン



BE THE
INSPIRATION



会長
杉田至弘

静岡東ロータリークラブ

会長／杉田至弘 幹事／川口尚宜

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>

第 2878 回例会

平成 30 年 11 月 8 日 天候 曇

- 《司 会》 川口 尚宜 君
- 《合 唱》 「我等の生業」
- 《BGM》 「禁じられた遊び」他
ペペ・ロメロ (ギター)
- 《ゲスト》 JFA ナショナルコーチングスタッフ
(U16 日本代表コーチ)
齊藤 俊秀 様
- 《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日	結婚記念日
11月13日 鍋田 知佐人 君	11月10日 古橋 剛俊 君
	11月10日 鍋田 知佐人君
	11月12日 長島 秀親 君
	11月14日 金井 徳幸 君

《ソングリーダー》



神野 一成 君

20 数年前に海外で 1,500 人位入る会場で、酔った業者に推されてタクトを振りました。「上を向いて歩こう」をやったら、海外でもまだ有名で大喝采を浴び、次は司会者のふりで「軍艦マーチ」をすることになりました。歌ったり、タクトを振ったりするのはそれ以来です。

《会長挨拶要旨》

日本記者クラブ

杉田 至弘 会長

こんにちは！早いもので今年もあと二か月足らずとなりました。今年もいろんな事件、事故がございました。先日はシリアに 40 ヶ月拘束されていたフリージャーナリストの安田純平さんが解放されました。安田さんの行動を英雄視する見方、たとえ真実を報道した

いと言ってもそれは自己責任だとして政府の介入を疑問視する見方。カタールが身代金を代わりで支払った、との憶測もありました。それなりに成程と思いますが私は 3 年 6 ヶ月に及ぶ長い期間、死の恐怖と狭い場所で自由を奪われても不屈の気持ちを持ち続けた安田さんの生命力。そして帰国直後の日本記者クラブでの会見では冷静に「日本政府や関係各位に心配と迷惑をかけた」と謝罪した姿勢は一定の評価を与えてもいいのではないかと思います。



これだけの出来事ですと日本記者クラブでの会見となり、国民全てが知りえる情報として報道されますがこの日本記者クラブについて少し述べたいと思います。「公益社団法人日本記者クラブ」は 1969 年(昭和 44 年)ワシントンのナショナルプレスクラブに範をとり日本放送協会(NHK)、日本新聞協会、日本民間放送連盟など新聞・通信・放送の報道機関による独立組織として設立されました。政府など公的な財政支援は一切受けておりません。静岡県においては県政の記者クラブ、市政の記者クラブ、県警の記者クラブや中央官庁の出先機関の記者クラブ等がありますが、その性格、形態は全く異にしております。日本記者クラブは現在ヤフーやグーグルなどソーシャルメディアからの入会要請を拒否しておりますが、政府が放送法の改正などを言い出していますので今後どうなるか注目しています。

今年にはスポーツ界の出来事がすごかったですね。横綱日馬富士の貴ノ岩殴打事件、日大アメリカンフットボール部の反則行為、ボクシング連盟会長の横暴行為、女子レスリングコーチ告訴事件など話題には事欠きませんでした。

最近では企業、団体も広報の重要性を認識し、会見場のバックにパネルを設置して情報提供側の立場を演出しているように見えます。先のスポーツ界の出来事の中でこの会見の場を上手く活用したのが日本大学アメリカンフットボール部の加害者であり、被害者であっ

た20歳の宮川泰介選手だったと思います。関学アメフト部が日大アメフト部を告訴したのは過去の試合で辛酸をなめていたので、抗弁されないよう周到な用意をしたうえで会見に臨みました。日大側が対応に戸惑っている間に宮川選手が日本記者クラブで会見を開き実情を述べたのは皆さまご承知の通りです。反論に向かった日大側は学内で会見を開き、しかも司会者が記者からの質問を制限するような横柄な態度をとり、世間を敵に回してしまいました。宮川選手が10月にアメフト部に復帰した嬉しいニュースもありましたが、この問題は全て解決したわけではありませんし、ひとつの教訓を生んだと思います。

本日60周年の委員会を開き、各委員のご尽力で着々と進んでおります。60周年を期に東RCが何をするか、どうしたらプラス方向に結び付けるかを全員で考えてその情報を発信していきたいと思っております。

《来賓卓話》

「終わりなきサッカー人生」

JFA ナショナルコーチングスタッフ (U16 日本代表コーチ)

齊藤 俊秀 様



皆さん、こんにちは。齊藤俊秀と申します。私は大学を卒業し、清水エスパルスに入団。11年間プレーした後、2年間は湘南ベルマーレに移籍。その後藤枝MYFCで5シーズン、静岡県リーグから東海リーグ、JFLまでプレーし、40歳で現役引退をしました。私は現在、U-16日本

代表コーチとして、また、エスパルスではアンバサダー(アドバイザー)として活動をしております。

エスパルスは今日の時点で勝ち点44の7位、ジュビロは勝ち点40の11位です。両チームともにJ1残留は間違いない位置にありますが、今年は例年になく混戦のリーグです。16位のサガン鳥栖でさえ勝ち点は36もあります。エスパルスは残り3試合となりました。

ここ数年は残留争い、J2降格、J1昇格という激動のシーズンを過ごしてきましたので、今シーズンは非常に穏やかな終盤戦を迎えようとしています。しかしながら、かつては、特に90年代から2000年初頭はエスパルス、ジュビロともに上位をキープし、優勝争いを繰り広げていました。残り試合、少しでも勝ち点を積み上げ、一つでも上の順位で終わってほしいものです。また、エスパルスからは北川航也選手が日本代表に選出されており、今後の飛躍が非常に楽しみです。

9月下旬から10月上旬に行われたU-16アジア選手権において日本代表は来年南米ペルーで開催されるU-17ワールドカップの出場権を獲得することができさらに優勝することもできました。私は今回の2002年生まれ以降のチームと前回の2000年生まれのチームでアジア選手権に参加しましたが、今年のチームは決して前評判が高くありませんでした。反対に前回のチームは優勝候補と目されていましたがベスト4止まり。サッカー界では下馬評が低い時ほど好成績を収める傾向にあります。

02' ジャパンはアジア予選を迎えるまでに、のべ8回の活動(遠征、合宿)を行って参りました。ほぼ毎月の活動となりますが、活動が終わる頃には活動前には想像もつかないほど、個人も集団も成長をします。アジア予選では予選から決勝まで6試合を戦いましたがどの試合も常に接戦でした。選手も指導者も試合は楽に勝ちたいという願望があります。毎試合常にプレッシャーのかかる試合の連続でしたが、それが好を奏しチームに緊張感を与え、結束力、団結力を高めてくれました。

代表は4つのカテゴリーがあります。A代表、オリンピック代表、U-19代表、U-16代表です。日本代表はトレセン制度がベースとなって選手を育成し、人材を発掘しています。常に世界基準を意識しつつ、日本の良さを生かした日本人らしいサッカーを追求していきます。

最後に、昨今スポーツ界において指導者の倫理観が問題視されている中、我々が常に意識している指導者としての心得を伝えさせていただきます。

- 1、プレーヤーズファースト(主役は選手)。
 - 2、Guided discovery(自分で解決法を見つける力を養う)。
 - 3、結果よりも子どもたちの成長を楽しみながら指導する。
 - 4、指導者も学び続ける。
 - 5、グッドスタンダード(良い手本、見本になる)
- この5つの心得を胸に刻み、サッカー人生の未来を切り拓いていきます。

本日はご清聴いただき有難うございました。

《スマイル報告》

森下 登志美君 齊藤俊秀さんを卓話者にお迎えしてスマイル。

近江 陽子 君 齊藤俊秀様をお迎えしてお話をお伺いするのをとても楽しみにしております。

川口 尚宜 君 U-16 日本代表コーチ齊藤様をお迎えして。12年ぶりのアジア王者おめでとうございます。今後のご活躍を祈念します。

古橋 剛俊 君 10日は45回目の結婚記念日です。花を楽しみにしております。

望月 康弘 君 今、仁和寺で五大明王壁画を公開しています。週末京都に行く用事があり、拝観出来ました。372年前御所内裏から移築されてから初公開で大変迫力がありました。次の公開はまた300年以上先かは・・・わかりません。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
11/8	50(48)	42	6	-	-	-
11/1	50(48)	43	5	-	-	-
10/25	50(48)	33	15	9	6	87.5%

(会報作成 武田 弘樹)